

# キャッチアップ接種の開始期限は1年をきりました

公費で接種を完了する場合、2024年9月末までに1回目の接種が必要\*です

\*：標準スケジュール(0、2、6ヵ月)接種の場合

公費で接種できるのは  
2025年3月まで

HPVワクチン キャッチアップ接種\*対象者<sup>1)</sup>

1997年度生まれ～2006年度生まれの女性  
(1997年4月2日～2007年4月1日生まれ)



2006年度生 16/17歳	2005年度生 17/18歳	2004年度生 18/19歳	2003年度生 19/20歳	2002年度生 20/21歳
2001年度生 21/22歳	2000年度生 22/23歳	1999年度生 23/24歳	1998年度生 24/25歳	1997年度生 25/26歳

2007年度生まれの方は、通常の接種対象(小学校6年生～高校1年生相当)の年齢を超えても、2025年3月まで接種できます<sup>2)</sup>。  
\* ヒトヒロームウイルス感染症の定期接種については、積極的勧奨の差控えにより接種機会を逃した方に対して、公平な接種機会を確保する観点から、時間的に、従来の定期接種の対象年齢を超えて接種(キャッチアップ接種という)を実施する。

<sup>1)</sup>厚生労働省 2022年3月11日 HPVワクチンに係る自治体向け説明会 資料「令和4年4月からのHPVワクチンの接種について」より作成  
<https://www.mhlw.go.jp/content/10909000/000911549.pdf> (Accessed Sep. 7, 2023)  
<sup>2)</sup>厚生労働省 キャッチアップ接種スケジュール 平成29年度生まれ～平成18年度生まれまでの女性へ大切なお知らせ  
<https://www.mhlw.go.jp/content/10909000/000918718.pdf> (Accessed Sep. 7, 2023)

## 子宮頸がんワクチンの推奨方法

HPV9(シルガード9)を選択。  
接種の意義とHPV9の選択理由、その有効性と安全性、考えられる副反応を説明。

上腕三角筋に筋肉注射する。  
気分が悪くなりそうなら側臥位で接種する。  
声をかけながら速やかに接種する。  
接種後、液漏れがないように抑える。

0-2-6か月の間隔には拘らない。  
2回目は初回から2カ月後に計画する。

3回目は2回目から6か月以上あけるとより長期の免疫維持が期待される。

期限が迫ると国が提案してくるような短縮接種は避ける。検証などはしていない。

1-2回がバラバラでもきちんと3回目を追加。

12～14歳で接種すると良い。14歳までは6か月(半年)あけての2回法とされるが拘らない。既定の3回法の選択を推奨する。

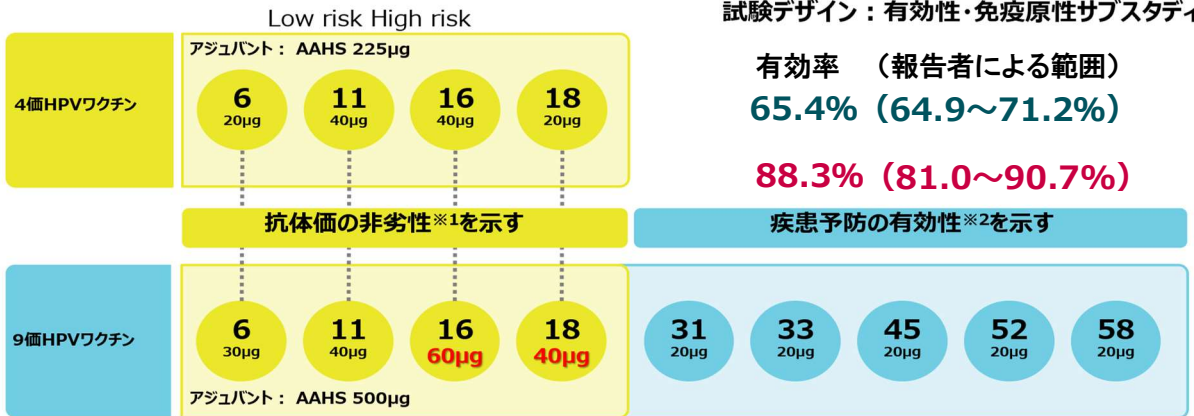
2回目から6か月以上の間隔が難しければ、半年開けての2回法も選択肢に。

## 4価ワクチン(gardasil4)と9価ワクチン(Silgard9)の比較試験

海外データ

001試験

<後期第Ⅱ相/第Ⅲ相無作為化4価HPVワクチン対照二重盲検試験(国際共同試験/検証的)>



※1：[非劣性の定義] 各HPV型におけるGMTの群間比の95%信頼区間の下限が0.67より大きい(1.5倍以上減少しない)

※2：有効性の主要解析は、主要評価項目であるイベントが30例以上に到達した時点で実施された

【試験デザイン】無作為化4価HPVワクチン対照二重盲検試験

【対象】16～26歳の女性14,204例(日本人女性2,54例を含む)

【方法】9価HPVワクチンまたは4価HPVワクチン0、2、6ヵ月の3回接種し、最長54ヵ月まで追跡し、有効性、免疫原性および安全性について評価した。9価HPVワクチンの予防効果の点推定値と多重性を調整した信頼区間を算出した。

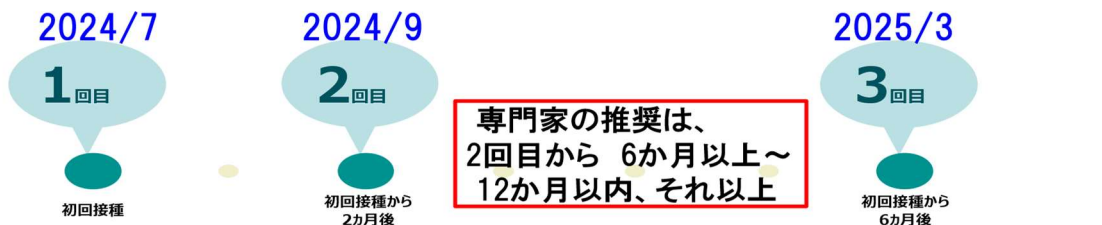
承認時評価資料 国際共同試験(V503-001試験)(社内資料)

名鉄病院予防接種センター

## シルガード®9の接種スケジュール (ガーダシル®4と同じ)

シルガード®9は、1回0.5mLを9歳以上の女性に合計3回、筋肉内に注射します

シルガード®9の接種スケジュール：初回接種、2ヵ月後、8ヵ月後



- 1回目にシルガード®9を接種した場合には、2回目、3回目の接種もシルガード®9を使用してください。
- 1回目以降、2、3回目で他のHPVワクチンを接種した場合の予防効果は確認されていません。

※ 接種スケジュールは、開発時試験に基づいて設定されました。

6か月以上、追加に上限はない  
添付文書を推奨理論に沿って改変

<用法・用量に関連する接種上の注意>

### 1. 接種間隔

1年以内に3回の接種を終了することが望ましい。なお、本剤の2回目及び3回目の接種が初回接種の2ヵ月後及び6ヵ月後にできない場合、2回目接種は初回接種から少なくとも1ヵ月以上、3回目接種は2回目接種から少なくとも3ヵ月以上間隔を置いて実施すること。

### 2. 他のワクチン製剤との接種間隔

生ワクチンの接種を受けた者は、通常、27日以上、また他の不活化ワクチンの接種を受けた者は、通常、6日以上間隔を置いて本剤を接種すること。ただし、医師が必要と認めた場合には、同時に接種することができる(なお、本剤を他のワクチンと混合して接種してはならない)。

添付文書 2020年7月作成(第1版)

名鉄病院予防接種センター